

今年も行ってきました

校長 三浦 一富

今年も6月30日(木)、7月1日(金)の2日間、交流学习に出掛けてきました。相手校は、昨年度と同様に上越市立国府小学校です。1日目、上越市立国府小学校5年生との交流会を行いました。約1時間半の交流の主なプログラムは、次のとおりです。

- ① 小木小5年生による小木の「竹」をテーマにした総合の発表
- ② 国府小5年生と一緒に竹細工の「コースター」作り体験活動

今年度の活動においても、以下の3つの成果を感じました。

- ① 郷土愛・・・「竹」という素材を通して、地域のモノに触れ、地域のヒトと関わりながら、小木の地域を学び、考えることができました。
- ② 発表力・・・伝えたいことをより効果的に伝える技能がアップしました。緊張感のある発表の場は、やり終えたとき、子どもに大きな自信をもたらします。子ども個々の個性が発揮されたよい発表でした。加えて、発表の中で披露した校歌斉唱も、実に見事な出来でした。また、コースター作りの「教え方」も上手でした。ふれあいタイムの経験を土台に、自分で教えることによって、さらに学ぶ姿が印象的でした。
- ③ 笑顔・・・コースター作りの場面で、国府小の子どもたちに、自分の作品が出来上がる喜びの笑顔が多く見られました。また、それを手助けした小木小の子どももたくさんの「ありがとう」をもらい、はにかみながらも多くの笑顔が見られました。初めて出会った子ども同士と一緒に活動することを通して、楽しみを共有する活動ができたと思います。



小木小学校の現在の校歌、そして旧校歌の歌詞にもうたわれている「(小木の)竹」に注目したところから、5年生の追求活動が始まりました。子どもが自分の住んでいる地域を見つめ直す視点は、いろいろなところにあることを実感しています。